

【共同研究先】

笠間茶陶研究会

研究の目的

笠間焼の新市場開拓先として、これまで余り生産されていなかった伝統的な日本料理に用いられる器について笠間の素材を利用した開発を行う。

研究の概要

水戸市にある中川学園調理技術専門学校の指導を得ながら器の試作を行った。試作品は実際に盛り付けを行い、県陶芸美術館・笠間市・財団法人笠間日動美術館と共催で展示会を開催し製品PRを行なうと共にアンケート調査を実施した。アンケートでは20代～60代の来場者から、笠間焼の認知から購入～愛用までの段階を追いつの段階でユーザーの行動が止まるかを調べた結果、実際に器を見る段階で多くの脱落が発生することが解り、取組みについてより身近に接する機会を増やす必要があることがわかった。個々の品物に対しては、概ね女性の方がサイズや重量、色、手触りに敏感であることが解り特にターゲットとしている中高年層では軽量小型を望む声が多かった。こうした意見を反映させた製品作りに今後取組んでいきたい。



勉強会で実際に盛り付けた例



展示会

## 笠間焼の器ファンになるまでの障害箇所調査

レベル	段階	生存率	質問
1	認知	100 %	笠間焼を知っている
2	使用経験	97 %	料理に笠間焼の器を使うか
3	行動	80 %	笠間焼の器を見に行くか
4	比較	80 %	笠間焼は他との比較対象になるか
5	購買行動	77 %	実際に笠間焼を買うか
6	愛用行动	74 %	家で笠間焼の器を使っているか
7	リピーター行動	74 %	どんな器が欲しいか具体例

基礎となった事業

平成20年度 オンリーワン技術開発支援事業（共同研究）

担当部門

工芸技術部門

主任 常世田 茂

TEL : 0296-72-0316